

都市再生整備計画 事後評価シート  
長和地区

令和2年7月

長野県長和町



様式2-1 評価結果のまとめ

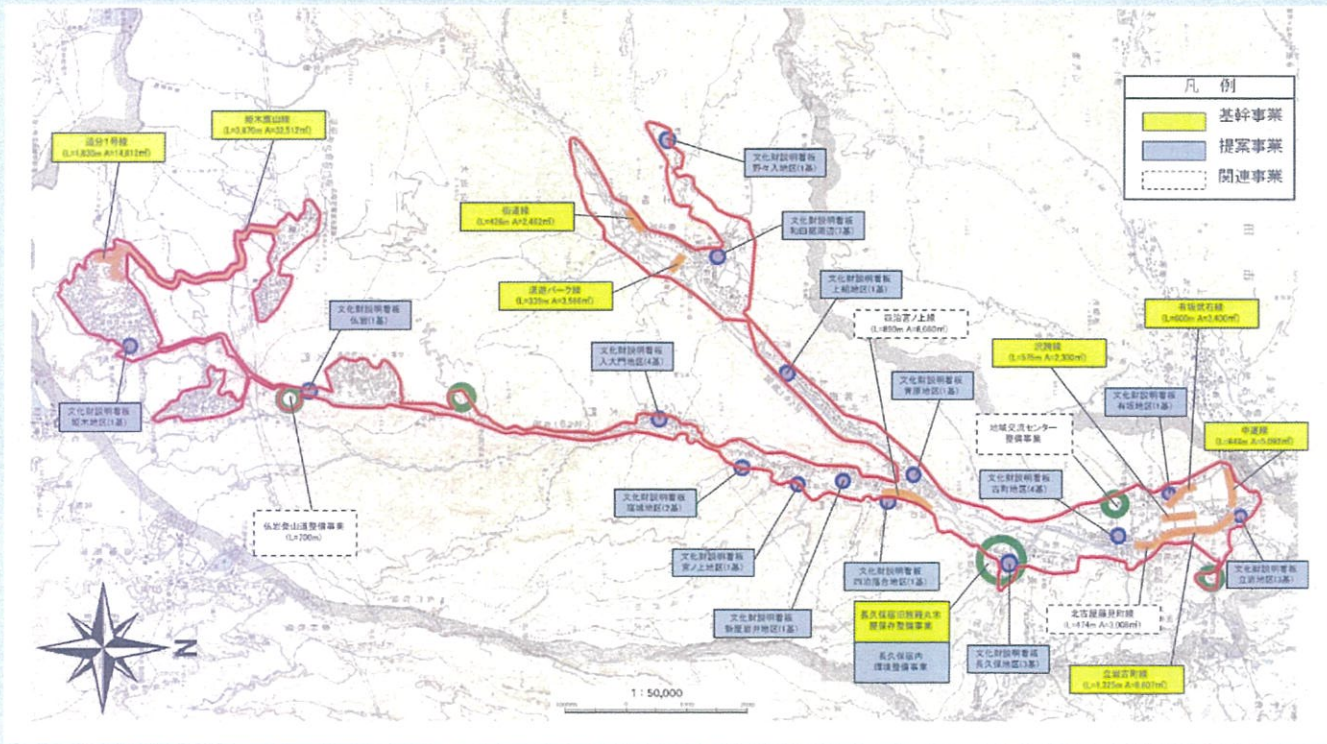
都道府県名	長野県		市町村名	長和町		地区名	長和地区			面積	1700.9ha			
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	令和2年 月		交付対象事業費	523.9百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	道路(中道線)、道路(立岩古町線)、道路(北古屋藤見町線)、道路(有坂石線)、道路(沢跨線)、道路(四泊宮ノ上線)、道路(姫木鷹山線)、道路(追分1号線)、道路(街道線)、道路(湯遊パーク線)、地域生活基盤事業(長和地区)、高次都市施設(古町)、高次都市施設(大門(小茂谷))、既存建造物活用事業(長久保 堅町)										
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(仏岩登山道整備事業(大門 仏岩))、地域創造支援事業(長久保宿内環境整備事業(長久保 横町 堅町))、まちづくり活動推進事業(権現の水活用事業(古町 滝ノ沢))										
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	新たに追加した事業	基幹事業	高次都市施設(大門(小茂谷))			既存の施設を再利用する事となったため削除			指標1地域交流センターの利用人員を下方修正					
交付期間の変更	当初変更	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	指標1	地域交流センターの利用人員	人/年	100	H23	1,000	H29	モニタリング	評価値	1,327	○	あり	地域交流センターの新設により、利用人員が増加し、地域コミュニティ機能の強化につながった。	—
	指標2	長久保宿・和田宿の観光客数	人	6,400	H23	7,400	H29			6,621	△	あり	● 目標は未達成だったが、施設整備、情報発信等の強化により、観光客数の増加につながった。	H30
	指標3											なし		
	指標4											あり		
	指標5											あり		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路網の整備により、通勤や買い物など住民の生活による往来及び観光客の往来の安心・安全の確保につながり、地域の交流の活性化や観光客の増加に効果があった。</li> <li>宿場内の環境整備や宿場の中で基点となる施設整備を行った事で、宿場への観光客数の増加につながり、地域住民との交流の場としても利活用の促進が図れている。</li> <li>地域交流センターが新設された事により、施設を利用した住民活動等が活発になり、地域コミュニティの機能強化や地域住民の交流の活性化が図れた。</li> </ul>													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた					—			
	住民参加プロセス	・長久保宿保存整備検討委員会の開催				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					—			
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—			
持続的なまちづくり体制の構築	・長久保宿保存整備検討委員会の開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	住民主体の検討委員会において、適切な町並み保存や維持管理、利活用を図っていくための中山道及び宿場全体の保存整備計画の作成などを行っていく。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					●	検討委員会で作成した中山道及び宿場全体の保存整備計画に基づき、引き続き検討委員会を開催し、適切な町並み保存や維持管理、利活用を図っていく			
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									



様式2-2 地区の概要

長和地区(長野県長和町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
<b>■大目標:</b> みんなが集まる魅力あふれるまちづくり <b>□目標1:</b> 誰もが集まり、コミュニティを育む空間の整備促進 <b>□目標2:</b> 災害につよく、快適に暮らせるシステム・施設の整備促進 <b>□目標3:</b> 自然・歴史を活かした地場産業の整備促進	地域交流センターの利用人員	単位: 人/年	100 H23	1,000 H29	1,327 H29
	長久保宿・和田宿の観光客数	単位: 人	6,400 H23	7,400 H29	6,621 H29
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



基幹事業：長久保宿旧旅籠丸木屋保存事業



提案事業：文化財説明看板(立岩地区)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路網の整備、地域交流センターの新設により、通勤や買い物など住民の生活による往来及び観光客の往来の安心・安全の確保や災害時の避難場所の整備にもつながった。</li> <li>・宿場内の環境整備や宿場の中で基点となる施設整備を行った事で、宿場への観光客数の増加につながり、地域住民との交流の場としても利活用の促進が図れている。今後も観光客数の増加を図るため、更なる情報発信等が必要となった。</li> <li>・地域交流センターが新設された事により、施設を利用した住民活動等が活発になり、地域コミュニティの機能強化や地域住民の交流の活性化が図れた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備したコミュニティ施設をより地域住民や地域に訪れる方に向けての有用活用を図り、今後も地域コミュニティの機能強化や地域住民の交流の活性化を図る。</li> <li>・町道をはじめ各施設の維持管理を徹底し、より効率的な運用を図ると共に、災害につよく、快適に暮らせるシステム・施設の整備促進に努める。</li> <li>・自然・歴史を活かした地場産業の整備促進を図ると共に、観光協会等との連携を強化し、更なる観光客数の増加につなげるための情報発信を進める。</li> </ul>